MOT Plus
ハン・ネフケンス財団との共同プロジェクト　シャハナ・ラジャニ
2025 年 4 月 29 日（火・祝）―6 月 29 日（日）

1. シャハナ・ラジャニ《回復のための四つの行為》より（制作：ハン・ネフケンス財団）

東京都現代美術館は今年、従来の展覧会の形式にとどまらない実験的なプロジェクトや、他の組織との共同事業を展開する新たな企画「MOT Plus プロジェクト」をスタートします。その一環として 4 月 29 日（火・祝）より「MOT Plus ハン・ネフケンス財団との共同プロジェクト　シャハナ・ラジャニ」展を開催します。

ハン・ネフケンス財団は、2009 年の設立以来、バルセロナを拠点に世界各地の美術組織と連携し、映像を表現媒体とするアーティストの制作支援を行っています。同財団は 2023 年、東京都現代美術館とプラメヤ・アート・ファウンデーション（インド）、ノッティンガム・コンテンポラリー（英国）、イシャラ・アート・ファウンデーション（アラブ首長国連邦）、アントワープ現代美術館（ベルギー）および Para Site（香港）と連携し、「南アジア・ビデオアート・プロダクション・アワード」を設立しました。このアワードは、受賞者となる若手アーティストに、新作の制作費と展示の機会を提供し、育成につなげることを目的としています。

このたび、南アジア地域（バングラデシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、スリランカ、アフガニスタン）からノミネートされた候補者から、同賞の受賞者として、パキスタンを拠点に活動するシャハナ・ラジャニが選ばれました。ラジャニは、パキスタンにおいて都市開発、軍事化、気候崩壊の影響を受けた人々や土地を調査し、映像を中心に複数のメディアで記録し作品として発表することで、占拠や破壊に伴う消去の暴力に抗う芸術的実践を、人々との協働を通じて展開しています。
本展では、ラジャニによる新作映像インスタレーション《回復のための四つの行為》を展示します。本作は、インダス・デルタにおけるダム建設が引き起こした環境破壊により、カラチへの移住を余儀なくされた漁師の一家が、消えゆく故郷を絵に描き留める姿を追った映像をベースとしています。ラジャニは、彼らが生活していたかつての入江や聖者廟の風景を壁画に描く行為を、愛する人の庇護と回復を祈願して描くイスラームの護符（タリスマン）の伝統文化にもつなげながら、戻ることのできない世界の姿を呼び起こす抵抗と帰属の儀式

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp
※開催内容は都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

として描き出しています。3 つのスクリーンで構成されるインスタレーションは、インダス・デルタの現在の状況と、そこに生きていた人々がつなぎとめようとする風景との隔たりと重なりに観る者を招き入れます。

作家プロフィール

シャハナ・ラジャニ

（Shahana Rajani）

1987 年カラチ（パキスタン）生まれ。開発、軍事化、環境破壊を焦点に自国の風景とインフラを作品で取り上げ、その表象を探求する。コミュニティと協働して行う調査に根ざした領域横断的なラジャニの実践は、環境破壊に対する抵抗の歴史に関わるものでもある。

また、ザフラ・マルカニと共に、土地と水を巡る抵抗運動を基にした急進的な教育実践を探求する実験的プロジェクト「カラチ・ラジャミア」を共同設立した。

2. シャハナ・ラジャニ

ハン・ネフケンス財団

2009 年、文筆家、コレクターでもあるハン・ネフケンスによってバルセロナで設立された非営利団体。映像を表現媒体とする若手から中堅のアーティストを対象にしたアワードや共同コミッションを、各国の美術組織と連携して実施し、作品制作と国際的な展示の場を提供するための支援を行っている。

www.hnfoundation.com

基本情報

展覧会名	MOT Plus ハン・ネフケンス財団との共同プロジェクト　シャハナ・ラジャニ
会　　期	2025 年 4 月 29 日（火・祝）－6 月 29 日（日）
休 館 日	月曜日（5 月 5 日は開館）、5 月 7 日
開館時間	10:00－18:00
観 覧 料	無料
会　　場	東京都現代美術館 企画展示室 B2F
主　　催	東京都現代美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）
問 合 せ	03-5245-4111（代表）
企画担当	事業企画課 企画係　原田美緒

関連プログラム

会期中にアーティストトークの開催を予定しています。詳細は当館ウェブサイトで順次公開いたします。

同時期開催

「MOT Plus　サウンドウォーク・コレクティヴ & パティ・スミス｜コレスポンデンス」企画展示室 B2 F

「岡﨑乾二郎　而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here」企画展示室 1F/3F

「開館３０周年記念　MOT コレクション　９つのプロフィール 1935→2025」コレクション展示室

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

広報図版の貸出について

広報用図版として 8 点をご用意しております。貸出をご希望の方は、下記の貸出条件をご確認の上、必要事項とあわせて図版番号をメール（mot-pr@mot-art.jp）にてご連絡ください。

必要事項

御社名／ご担当者名／貴媒体名（ジャンル）／発売・放送予定日

貸出条件

- 画像には作品情報（作家名・作品名・制作年・コピーライト等）を併記してください。
- 画像のトリミング、文字載せ、編集はご遠慮ください。
- 記事の掲載前に校正原稿をお送りください。また、記事の掲載後には掲載誌（紙）、ウェブサイトの URL、DVD、CD 等をお送りください。
- 画像データの二次使用はお断りしております。使用後はかならずデータを削除してください。

広報図版　作品クレジット一覧

1. シャハナ・ラジャニ《回復のための四つの行為》より（制作：ハン・ネフケンス財団）

2. シャハナ・ラジャニ　ポートレート

3〜8. シャハナ・ラジャニ《回復のための四つの行為》より（制作：ハン・ネフケンス財団）

3

4

5

6

7

8

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班　工藤・内堀・大塚
TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141
E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp　URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。